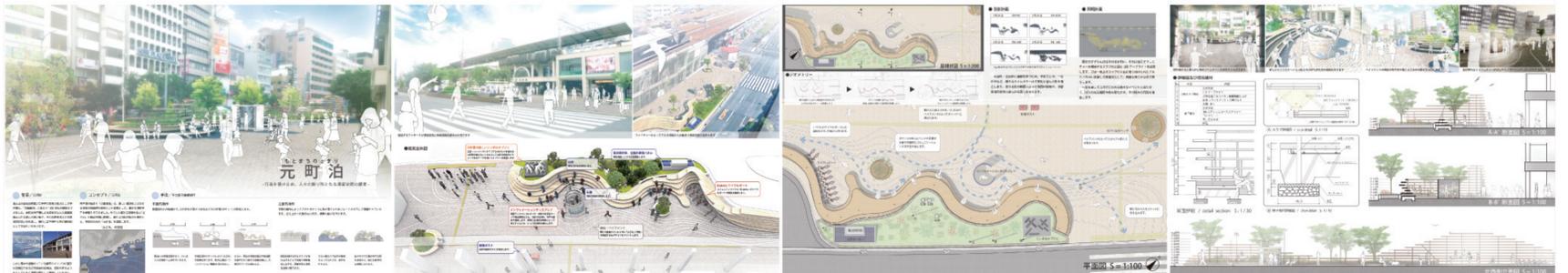


JR 元町駅東口前「まちなか拠点」整備プロジェクト

山本 修大 塚越 仁貴 楠 満葉 米倉 良輔（遠藤研究室）

2018年4月、JR元町駅東口前広場再整備の工事が完了し、『元町泊（もとまちのとまり）』が公開されました。本プロジェクトは2017年4月に神戸市より「まちなか拠点整備イメージ提案」の募集があったことから始まりました。遠藤研究室では全3案を提出し、うち1案が最優秀賞作品に選出され、同案をベースとした実施案の詳細設計がなされました。「神戸港の潮流」と「六甲山系の稜線」から着想を得た曲線

を用いたウッドスラブを積層させたデザインは、人々が自然に流れ込み座るような雰囲気を作り出し、歩行者空間と自動車交通を分離する役目を担っています。現在は実際に使用される様子を観察し神戸市との協議を重ねながら、この駅前空間が元町・神戸の新たなシンボル、待ち合わせスポットとして長く愛されるものになるよう改良と情報発信に取り組み続けています。



気仙沼復興記念公園プロジェクト

大西怜 小漣航 張嘉龍 牧拓志（槻橋研究室）

気仙沼復興記念公園は平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって犠牲になられた 1,365 名の方々を悼み、気仙沼の再生を祈念する場所として、アイデアコンペを開催したことから始まった。広い世代から多くのアイデアを募るために、募集資格を問わない開かれたアイデアコンペであった。その中で、私たちは「3つのひろば」を提案した。みんなで亡くなられた方々を偲び、手を合わせる場所であると同時に、この場所から、1,365名の方々へ向けて祈ることができるように。そして「海

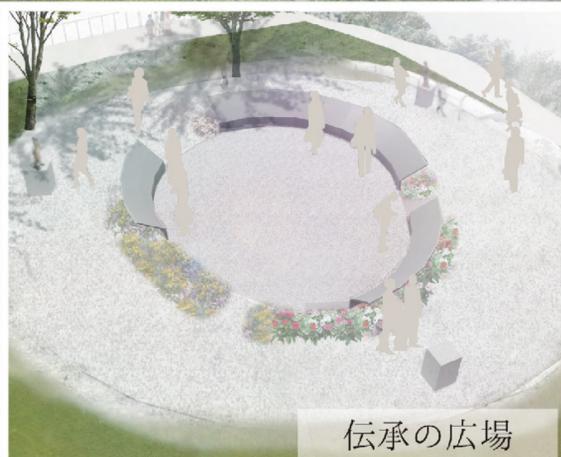
と生きる」気仙沼の人々が共生していく自然としての海—気仙沼湾を展望しながら、それぞれに復興と再生に向けて歩んでいる地域とのつながりを感じられるように。地域の復興を実感しつつ、未来永劫の安寧を祈り伝えていく場所となることを願う。（2018年2月気仙沼市復興祈念公園アイデアコンペで最優秀賞。現在実施設計段階にあり、2020年完成予定。）



追悼の広場



再生の広場



伝承の広場

